

最終号刊行と JANNI 解散に向けたご挨拶

1991年1月に創刊されて1993年3月からはJANNIの機関誌として企画・編集・発行されてきた『インドネシア・ニューズレター』も、JANNIの活動停止（2018年度末）と解散（2019年度内）が決まったために、この号が最終ということになりました。

1993年の発足以来 JANNI は、インドネシアの人権、環境、開発などさまざまな問題を改善するため、また日本とインドネシアの市民レベルの交流・ネットワークを広げるため、インドネシアの NGO と協力しながら、調査研究や政策提言、環境・開発分野での活動を行ってきました。

発足当時のインドネシアでは、「開発独裁」体制とも呼ばれたスハルト政権下で NGO の活動に厳しい制約が課せられていました。一方で、インドネシアの国家財政は日本を含む先進各国や国際機関による公的開発援助に大きく依存していました。このような状況下で1985年に「インドネシアに関する国際 NGO フォーラム」(INGI)が創設され、インドネシアの NGO への国際的支援と援助供与国へのアドボカシー活動が開始されました。INGI は1992年に神奈川県と協力して日本で第8回総会を開催しました。これが機縁となり INGI 神奈川会議実行委員会有志が中心となって JANNI が設立され、INFID（やはり1993年にINGIから改称）の日本におけるリエゾン組織としての活動に着手しました。

その後1998年にインドネシアではスハルト政権が終わって民主化(レフォルマシ)の時代に入ったために、NGOを取り巻く国際環境にも大きな変化が生じるようになりました。INFIDの国際的ネットワークとしての機能が後退したために、JANNIは2003年以降そのリエゾンとしての役割を終え、インドネシアのローカルなNGOと個別に直接の協力を行いながら活動を継続することになりました。

以後15年間にわたり、『インドネシア・ニューズレター』刊行と連続講座の開催による広報活動ならびにインドネシア現地におけるNGO協力プロジェクトの企画・実施を主な柱として活動を続けてきましたが、インドネシアに対する国際的開発援助の縮小にともなうアドボカシー活動の役割低下、会員数の減少による常設事務局の維持困難、運営委員の高齢化、などの要因のために、残念ながら組織の維持・継続がしだいに難しくなってきました。

そのため2018年6月30日に開かれた第24回JANNI通常総会で、ニュースレター刊行、連続講座開催、NGO協力プロジェクトの3つを主な柱とするJANNIの活動を2018年度を最後に停止し、2019年度に清算業務を行って同年度内にJANNIを解散することが決議されました。この総会決議にもとづきニュースレター刊行は本号、連続講座は第97回（2019年1月15日に実施済み）を最後に、また東ジャワ州シドアルジョ県で2016年から実施してきた協力プロジェクトも2018年度末に終了することになりました。また出版物の販売も2019年2月末で終了しました。

当初の予定では2019年1月にニュースレター99号、4月に100号をお届けすることにしていましたが、99号の編集に当たる運営委員が勤務先の用務多忙などのため2018年末までに準備の作業を終えることができなくなってしまいました。そのため、やむをえず本号を99、100号の合併号としてお届けすることに変更した次第です。この文章の後に続く「ロンボク島大地震のその後と学校支援プロジェクト」、「おいしい！インドネシア」、「Kata-Kata Singkatan ～インドネシア語の略語あれこれ」の3つが99号に、それより後の記事が100号に掲載される計画でした。99号の内容がお手元に届くのがたいへん遅くなったことをお詫びします。また、出版物の販売を2019年2月末で終了したために、この最終号は会員の皆様とその他の関係先に配布、寄贈するための非売品とさせていただきます。

JANNI 創立以来四半世紀にわたる皆さまのご支援、ご協力にあらためて厚く御礼申しあげます。なおインターネット上の下記ホームページと事務局メールアドレスおよび電話は、引き続き2019年7月まで維持・運用します。またその後の措置についても、追ってホームページなどでお知らせします。

2019年3月

日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI)
運営委員会代表 加納啓良

〒110-0005 東京都台東区上野 5-3-4 クリエイティブ One 秋葉原 6階
電話：03-5818-0507

E-mail: janni@jca.apc.org

URL: <http://www.jca.apc.org/~janni/>